

野球や Baseball など

World Baseball Classic。今日、日本はメキシコに快勝。よかったよかった。

アメリカ戦は疑惑の判定で負けた、と言われているが、あれで点が入っていたとして勝っていた保証はない。僕は終盤の二つの采配こそが問題だと思う。

まずは9回の満塁で多村の場面は代打を出すべきだった。多村の金髪と髭とネックレスの絶妙なアンバランスが問題なのではない。この日もヒットは打っていたが、前の打席もまったくタイミングが合っていなかったし、打てそうなオーラが皆目出ていなかった。おまけにリッジ（相手投手）は明らかに左打者の方が投げづらそうだった。左代打陣の状態がよくなかったのか。って、金城くらいしかいなかった？王が行けー！

もう一つに、9回も藪田でいくべきだったと思う。藪田は今日はホームランを浴びたが、アメリカ戦は抜群の安定感があった。藪田は1イニング、と決めていたんだろうが、あのプレッシャーのかかる場面ではもう1イニングがんばってもらべきだったと思う。ま、これで藤川も次は落ち着けると思うが。

疑惑の判定をきっかけに、この大会はアメリカ偏重だと騒いでいるが、そんなことは最初から明白だったのでイマサラという感じである。組み合わせ抽選もないんだからね。ぼっかみたい。あからさまに、決勝はアメリカ対キューバかどこかの中南米の国の対戦になるように決めてあるからである。決勝がアメリカ対日本とか韓国じゃ盛り上がりたんとみてるわけ。アメリカのスター軍団でも意外に勝てないことがわかって、アメリカ中心の興行と考えていたいやしい関係者も今頃オタオタしているだろう。

それにしてもこの大会、そんないやしさが見え見えなのか、アメリカのメディアの扱いも小さい。やってること自体知らないアメリカ人もけっこういるだろう。誤審疑惑がアメリカでも騒動になっていると日本で大騒動になったが、アメリカの新聞に一応載っているのを日本人が騒いでいるだけである。アメリカの有力紙のweb版を見ても、メジャーリーグの情報の方がトップにある。

New York Times だったかどこかは、マルチネス（アメリカ監督）がタッチアップにイチャモンをつけたのを、リトルリーグのお決まりのクレームと揶揄していた。

さすがに王は向こうでもなかなかのビッグネームだ。今回の会見で吐く王の言葉はなかなかいい。ただ、「野球がスタートした国（発祥の地）でこんなことはあってはいけない」という談話はアメリカではそのように訳されていなかった。「野球が有名で人気がある（famous and popular）国で」と訳されていた。ちょっとばかっばい。

ところで、この前亡くなった藤田元司が巨人の監督時代、王が助監督だった時があった。新聞にはよく「王助監督」の文字がならんだが、それを見て、「へー、王さんってスケって名前だったんだー」と言ったやつがいた。

あっ、野球に興味ない人、さっぱりわからない話だったでしょうね。ま、ひとりごとだからご勘弁を。そういえば、先週、なんちゃって出張でシドニーに行っていたが、オーギーフットボールもクリケットも（こちらはもちろん英国が発祥地）見ていて（TVで）さっぱりわからなかった。

ルールがわからないスポーツを見ていると、ヒマなら思いのほか笑えるものである。この人、何にこんな真剣になってるんだろうとか思うとやけにこっけいに思えてしまう。突然ガッツポーズされても何がうれしいのかわからないので、この上なくマヌケに見えてしかたがない。きっと野球を知らない人が野球を見ていると同じなのだろう。

自動販売機からジュースがちゃんと出てきたといってガッツポーズをしていたら、間違いなく奇人に見える。とりわけ大きなガッツポーズだととびっきりの奇人になるだろう。ためしにやってみたら、通りがかりのおばさんが3秒ほど足を止めた。おばさんはじっと自動販売機を凝視していた。怖くて僕に目を向けられなかったのかもしれない。

センバツ甲子園、金沢桜丘の初戦は愛知啓成。行きますよ、もちろん。がんばれ！